



# 目次

はしがき

富岡八幡宮と祭り

福本 光男

1

一、祭と睦会

箱崎まつり睦会の歩み

8

箱崎まつり睦会の役割

9

二、大祭に寄せて

私と箱崎の祭り

10

ばくの箱崎

11

箱崎の御輿

12

三、大祭の準備から反省会までの記録

13

四、大祭を終えて

神輿総代として	山岸 博	清水 総一郎	増淵 一孝	福本 光男
神輿総代として	皆川 史朗	会田 修	6	2
祭が終わって	青木 昭吾	7	3	1
祭り雑感	山田 福蔵	8	4	1
大祭を終わって	大木 和雄	9	5	1
大祭を終わって	鶴田 弘司	10	6	1
祭を終えて	山岸 ミイ	11	7	1
		12	8	1
		13	9	1
		14	10	1
		15	11	1
		16	12	1

あとがき

21

## はしがき

「わっしょい、ワッショイ」の掛け声と共に三年間待ち望んだ大祭がやつてきました。この時になると、三年間の月日を短く感じられるのは、町内住人の共通の思いでしょう。

毎回、年が明け一月になると「今年は大祭の年」と思うだけで、肉踊り血

がたぎる“思い”がします。

箱崎の街も、ここ数年で大きく様変わりをしました。古い町家がどんどん少くなり、大小さまざまビルが建ち並びました。しかし町民の祭りに対する気持ちは不变で、ますます意気盛んに感じられます。今年は、町内会では若手といわれている中年のおじさん達に、箱崎三町会合

同で、大祭の企画運営をしてみたい“どの気運が高まり、初めての試みとして「箱崎まつり睦会」を結成、それぞれ役割を分担して準備にとりかかりました。今回は神輿の駒番も「箱崎四」から「箱崎」に変わり三町会合同の大祭になりました。富岡の祭との感が色濃くなつたような気がしました。富岡の太鼓に関して、親会ともいえる箱四町会の役員とも



箱崎祭 聖火発足



並行するように、六月五日第一回目の「祭り睦会」の打ち合わせが開かれました。その際、「箱崎の祭を残しておきたい」との意見が出て、今回の小冊子の編集に着手することになりました。この小冊子の発行に際し、町会役員の皆さん、また古い箱崎をご存知の方々から大変貴重な資料、お話を提供していただきました。大祭の写真を撮つて下さったプロカメラマンの小瀬、前田両氏、ハローの渡辺氏そして社員の皆さんのご協力に大変感謝いたし、頭の下がる思いです。ここに編集担当者として、御礼申し上げます。

## 富岡八幡宮と祭り

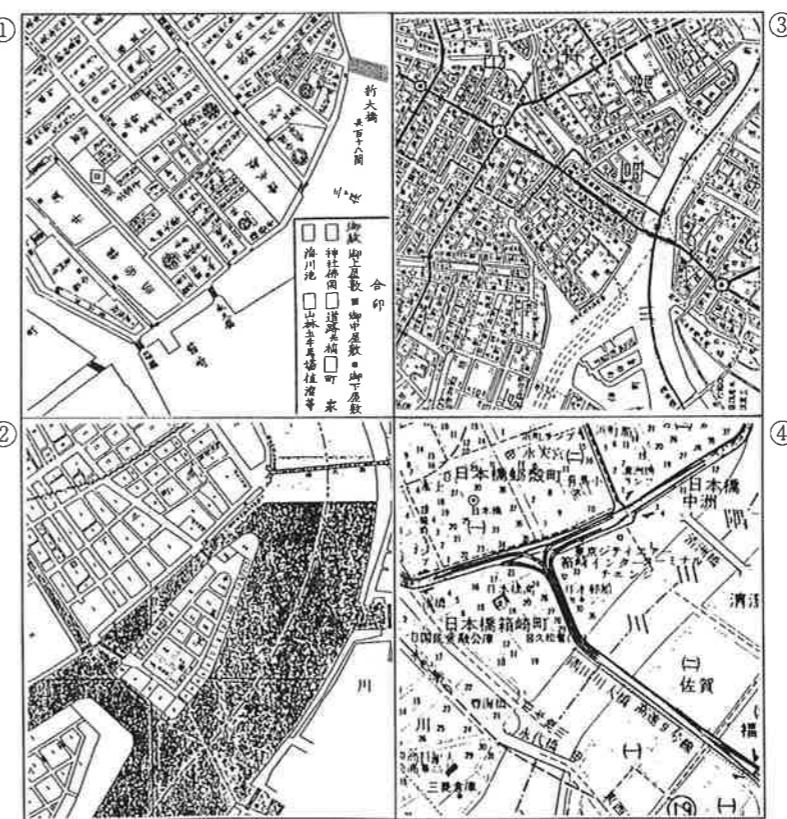
富岡八幡宮については、今から約三百六十六年前、江戸寛永年間に当時の東京湾内に浮かぶ永代島と呼ばれる小島と、その周辺に点在する砂洲一部を埋め立て、社地と氏子の居住地帯を開き八幡宮を創祀したとされています。この開拓された地域が今日の八幡宮境内、深川公園、富岡町、門前仲町あたりと言われている。

ところで、約一千年以前、利根川が向島あたりで東京湾に注いでいたようで、今の箱崎は陸地ではなく前述したとおり東京湾に点在する砂洲の一部であったようである。区史等を見ても日本橋川の両岸に新堀町があるのみで、江戸時代初期より、崩橋(後の箱崎橋)現一丁目首都高速入口付近)湊橋周辺から埋め立てられ、二・三丁目、四丁目と次々に埋め立て陸地となつていったようである。古くを知る方は、箱崎が一つの島であったことはご存じのことと思うが、箱崎から出るには必ず橋を渡らなければならなかつた。今は蛎殻町と陸続きになつているが首都高速道路の下は川だったのである。少々脱線したが、つまりこの江戸時代においては、日本橋、京橋地区の一角(箱崎、新川)と、深川地区とは永代島を中心とした砂洲埋め立て地として一つの共通の地域性を持っていたはずである。そのことから八幡宮と同じ氏子地帯となつたのである。ところが後に利根川から分かれた隅田川の出現により深川と日本橋(京橋)地区の一角が両断されたのである。①②③④の地図を見比べるとその様子がよくわかると思う。このことから、現在も箱崎町、新川が隅田川を隔てているのにもかかわらず、富岡八幡宮の氏子である由縁であろう。

富岡八幡宮の祭礼は、昔から八月十五日を中心に行われ、山王日枝神社、神田明神と並び江戸三大祭の一つに数えられている。神輿に水を掛けるこ

とから別名“水かけ祭り”とも言う。この祭りは近年三年に一度の本祭りと他の年に行われる蔭祭りとがある。本祭りでは鳳輦の渡御と氏子各町の神輿の連合渡御が、帳蛇の列(今年は五十五基)をなして各氏子町内を練り回る。その距離も8kmに及び、これが他に見ることのできない壯觀を呈し、深川祭りの本領を發揮、我々氏子の誇りとするところである。

福本



## 箱崎連合町会まつりの歩み

箱崎連合町会主催のまつり行事もはや一〇年に近づこうとしています。深川富岡八幡宮例大祭を柱に蔭まつりを含め現在では夏の箱崎風物詩となつてしまひました。

当時の箱崎三町会が連合してまつり行事を行うことに決定したいきさつは、御多分にもれず著しい町会員の減少に対処した結果だと思います。それにも増して種々の連合祭り行事が、三町会の会員相互の親睦、融和という良い方向に導きつつあります。

連合主催のまつり行事が軌道に乗るまで数年はかかったと記憶していますが、各町会から委任された役員、婦人部などを中心にして、これらの活動が町会員の皆様に心より楽しんでいただける催物になつてきたと自負しております。

今度この小冊子を刊行するにあたり今まで活動の場となつていた箱崎連合まつり委員会を発展解消し新たに「箱崎まつり陸会」という会を発足させることになりました。現在会員数も三〇名を数える程になり、二十一世紀へ

向けより一層の充実を図つて行く所存です。

この「箱崎まつり陸会」が各年のまつり行事を含め箱崎二町会の皆様にあらゆる機会で貢献できるよう会員全員の新たな飛躍を心に秘めております。

箱崎まつり陸会 会長 増淵 一孝



## 「箱崎まつり睦会の役割」



深川富岡八幡宮大祭の蔭祭りにおける、子供フェスティバルを中心とした箱崎三町会連合の行事も五年の年月を経て各町会の役割、分担も軌道に乗り順調に運営されるようになった今年、八幡宮大祭の年を迎へこれを機会に本祭の全ての行事にわたくつて協力するために三町会の祭を愛する有志による「箱崎まつり睦会」という組織が出来ました。

増淵会長を中心に今年の二月頃より何回も会合を開き、睦会の組織・運営・役割について協議しました。会合を重ねる度に会員も増え各町会にも認められ、準備万端整い大祭を迎えました。大祭初日・一日目と日中は子供を中心とした行事、夜は盆踊りが盛大に開催され勢の町会の皆様に喜んで頂けたことと想っています。二日目はいよいよ連合渡御、睦会、各町会の役員がそれぞれの役割によって早朝より神輿の担ぎ手のお世話をしました。早くから何回も会合を開き準備をしてきましたが、やはり本番になるといろいろな不都合が起ります。食糧の問題、人員配置の問題等改善する事はいろいろあると思いますが、睦会発足の年にしては順調にいったのではないかと思います。

三年後の例大祭、また毎年行われる子供フェスティバル、盆踊り等の開催については、より一層のアイデアと趣向を凝らして町会の皆様に喜んで頂けるよう頑張りたいと思います。各町会の青年の皆様！この「箱崎まつり睦会」に参加して一緒にお祭をもりあげましょう。待っています。

箱崎まつり睦会 大塚 英一

## 二・大祭にによせて



### 「私と箱崎の祭り」



八月十五日朝五時、根っからのお祭り野郎が集まってくる。三年前にも見た顔が「オス、オス」と挨拶しながら集まってくる。若いも若きも「ワッショイ、ワッショイ」大口開いたとたんに水の塊が口の中に。手で顔を撫でながら、また「ワッショイ」。すべてを忘れて無我の境、まさにこれがお祭りだ。

九州地方の方々には、まことに申し訳ないが、台風七号の露払いのおかげか、十一日午後より真夏の暑さを取り戻し、千組山口政五郎さんが精魂込めた最高のお神酒所も出来上がり、一五日の渡御の日を迎えられました。

祝典のため、皇居へ皇居へと各町会のお神輿が向かう中で、中止より無事帰還して間もない私は、忘れていた私のお祭り野郎がムズムズと目を覚ました。

ク」が開催される年でもありました。私は箱崎町会のお神輿の出会いは、昭和十五年皇紀一千六百年の秋を控えてのことでした。平和であったなら、アジアで初めての「東京オリンピック」が開催される年でもありました。

九州の方々には、まことに申し訳ないが、台風七号の露払いのおかげか、十一日午後より真夏の暑さを取り戻し、千組山口政五郎さんが精魂込めた最高のお神酒所も出来上がり、一五日の渡御の日を迎えられました。また、町会役員並びに大祭関係者の方々の並々ならぬご努力と、長時間のご尽力に対し、心よりお礼と感謝を申し上げます。

箱崎四町会 町会長 清水総一郎

## 「僕の箱崎」



ぼくは土州橋のたもとで生まれ、以来六〇年の歳月をこの町、箱崎で送ってきた。

小学校から高校を卒業するまで、箱崎小学校、都立第十七中学、日本橋高校と、同じ校舎で学び、ひたすら箱崎へへばりつきこの町から離れたことがない。土州橋もいま

や消え去りエアー・ターミナル・ビルとなり高速道路に覆われ、点在した長屋の街並も白い壁に囲まれたマンション、高層ビルの立ち並ぶ街と変わつてしまい、下町人情までが失われてしまったのではないだろうか。文明は、良きにつけ悪きにつけ、わが箱崎の街をこのように変えてしまった。しかし箱崎には諸先輩からすばらしい伝統と文化が引き継がれ、三年毎に催される富岡八幡宮の大祭と神輿連合渡御に参加する立派な、由緒ある神輿がある。これが僕がこの町箱崎に踏みとどまっている大きな理由なのかもしだれない。

八月十三日、ことしもワッショイ、ワッショイの掛け声と共に盛大に行われた祭は地域を一つに結び付ける。婦人部の応援団は前回をはるかに上回り、新たに発足した箱崎まつり睦会の活躍が大いにこの祭りを盛り上げてくれた。

この伝統を守り、次世代に引き継いで行くのが私達祭総代の役目なのでしょう。

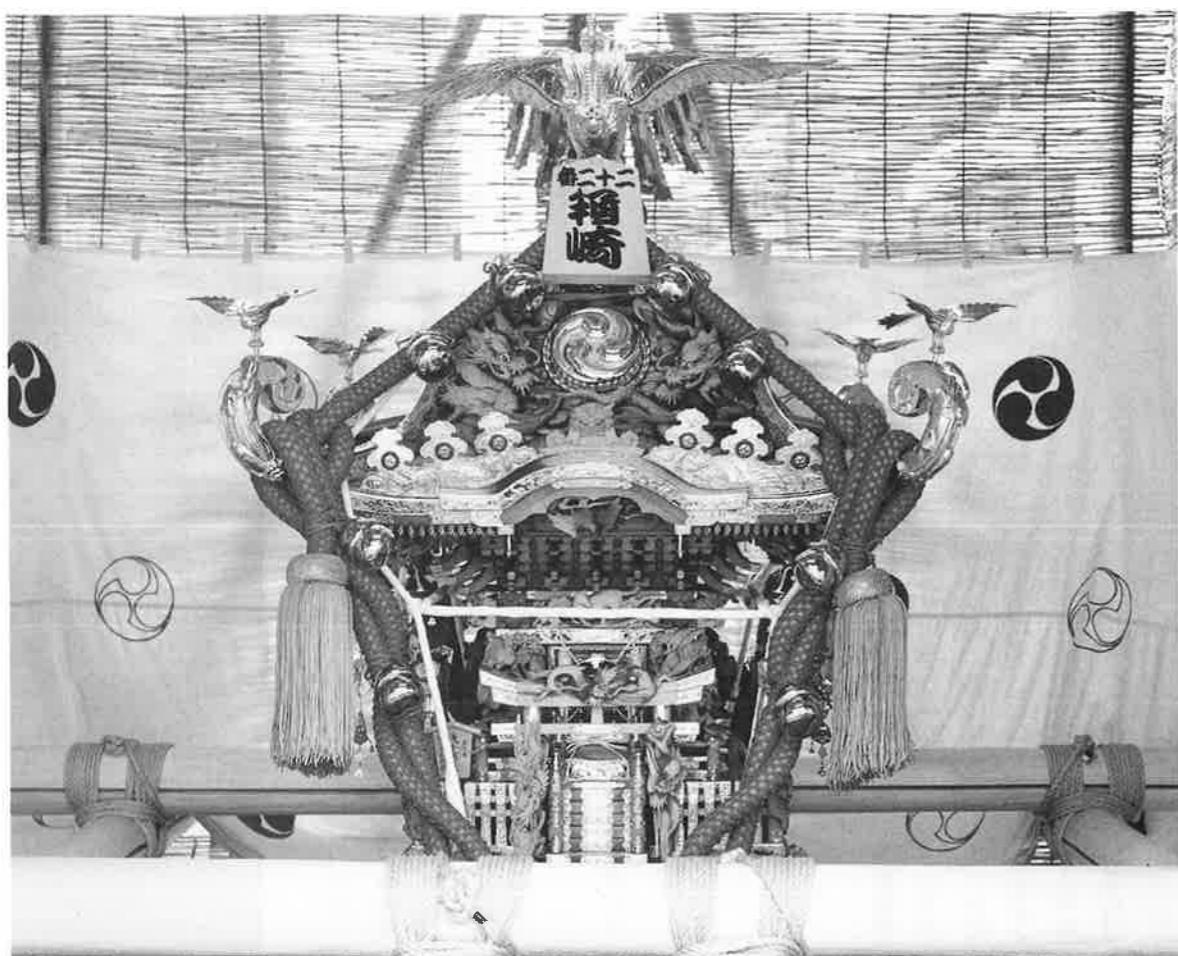
祭典実行委員長 合田 修

## 「箱崎の神輿」

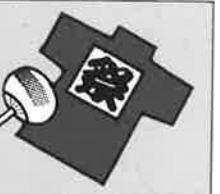
箱崎の神輿は昭和十一年、当時の箱崎四丁目町会有志の方々から奉納金により新調された塗り神輿全盛の時に櫻(ケヤキ)の総彫りという当時でも珍しい神輿に驚嘆の声があがつたと聞いている。作者は行徳の四代浅子周慶氏で、当時の金額で引き取り費等含め、三千九百円程かかった。(当時約四千円で土地付き豪邸が入手できた)彫りが深く、一尺五寸の台座に今年新調した、太く長い担ぎ棒を含めると、有に六百kgを超える。大正年間の作風を伝える立派な神輿と言われている。特に龍の眼には九十六個の十八金が嵌め込まれ、水をかぶり増え冴える櫻の木の色に一層の輝きを放つようだ。

昭和五十九年十月から六十年三月まで約半年間かけ浅子氏のもとで解体修理され、新調当時の素晴らしいを取り戻した。また、昨年、飾り綱も新調今年の連合渡御では水をかぶったブルーの色が、ひと際映え同型の子供神輿と一対で、お仮屋に並んだ様子は、神輿に携わる人々だけでなく、その前を行きかう人々の足を止め驚嘆の声をあげさせる程である。現在では、これだけの神輿を作るだけの原木も職人さんもないとのこと。私達全ての財産として、これからも大事に保存しなければと痛感する。それにまして、現在の神輿小屋は……?と考えさせられる。この財産を永久に保存するためにも、行政のご協力も得ながら、立派な神輿小屋を創設することが急務と思われる。

福本



# 四・大祭の準備から 反省会までの記録



## 睦会の足どり

睦会の役員、各部長を選任。  
会長／増淵、

六月五日 第一回会合(於、箱四町会事務所)  
仮称箱崎まつり睦会の発足について話し合  
い。

六月二〇日 第二回会合(於、箱四町会事務所)  
日程が確認される。八月十三～十五日(大祭)。

箱崎の祭りの日程の話し合い。

八月十二～十五日の間に宵宮から連合渡御  
を行うことを提案。

十三日 女性神輿、子供神輿、宵宮、盆踊り

十四日 子供フェスティバル、盆踊り

十五日 大祭、連合渡御

この間に箱崎町内で子供神輿

(箱北、二・三丁目)、山車(箱四)

を出す。

睦会規約案より第六条の四を削  
除する旨、報告有り。

予算二〇、〇〇〇円

### 四・盆踊りの準備

項目	担当	保管場所
提灯		
万国旗		
サークルライト		
コードリール		
	箱四、 箱北	公園トイレ
		階上

### 五・各町会分担金

箱四 三〇万円、  
箱北 二〇万円、

二・三丁目 二〇万円、  
区より九〇万円(各町会三〇万円)

計一六〇万円。

六・トビの心付

十三日、十五日 各一五、〇〇〇円

計三〇、〇〇〇円。

七・タイコ 箱北より

八・シロップ用容器

(ホーロー、蛇口付)一台購入。

九・盆踊り講師料(練習、本番込)

三〇、〇〇〇円。

一〇・傷害保険の付保(担当・福本)

三日間 延三〇〇人。

十一・十四日、子供フェスティバル時の火氣  
使用許可の届。

十四・区から職員が来るようであれば  
二・〇〇〇円位の土産を用意。

七月十七日 PM五：〇〇

### 第三回会合(於、箱四町会事務所)

盆踊り予行演習／

PRコーナー PM七：〇〇

二・三丁目、箱四町会の分担金は各二〇万円  
である旨の報告。  
副会長／西山、大塚、竹門、総務／加藤(清)、  
子供フェスティバル／中、盆踊り／加藤(恵)、  
企画・給食・連絡／山中、  
記録・情報／福本、会計／大塚(兼任)

アトラクション／ビンゴ、  
トウモロコシ 四丁目

食べ物／かき氷 箱北

ところ天 二・三丁目

射的 箱北  
ダーツ 二・三丁目  
輪なげ 四丁目

アトラクション／ビンゴ、  
トウモロコシ 四丁目

チケット作成／加藤(清)さんに一任  
1つづり 三〇〇円

PM三：〇〇 子供フェスティバル終了。  
PM六：三〇～PM九：〇〇 盆踊り開催。

八月 一日 PM五：〇〇

### 第四回会合(於、箱四町会事務所)

一・盆踊り用うちわ  
@￥八五五〇枚発注すること決定。

二・スピーカー、アンプ、ワイヤレスマイ  
ク(盆踊り用)、リースでリース料は、  
約二五、五〇〇円である旨の報告。

三・カセットデッキを購入

### 十五・盆踊り

ビールはなし(但、宵宮での生ビール  
が残った場合はそれを出す)。  
ウーロン茶／六〇コ×二日 用意。

### 十六・十四日について

子供フェスティバル準備用員の昼食。  
弁当／箱北 三〇コ、

### 十七・十五日について

箱四 五〇コ  
ビール／三五〇mg 二〇〇本  
ウーロン茶／一〇〇本

出物の準備、発注  
トコロテン／箱北、大塚  
カキ氷用シロップ／皆川  
ハンバーグ パンズ／沼崎

輪なげ等アトラクションの  
景品菓子／箱四、加藤

ビンゴ景品／箱四、加藤  
予算 八〇、〇〇〇円

### 十八・十六日について

子供神輿／二基、山車／一基  
コース  
I・B・M→山田ビル→

### 十九・十五日について

子供神輿／二基、山車／一基  
コース  
I・B・M→山田ビル→

### 二十・十四日について

子供フェスティバル時の火氣  
使用許可の届。

### 二十一・十四日について

区から職員が来るようであれば  
二・〇〇〇円位の土産を用意。

手伝い

箱北親会五名、

二・三丁目五名

睦会／増淵、大塚、加藤清、露木、藤岡、  
一・三丁目／田中、宮田

八月 八日 PM五：〇〇

第五回会合（於、箱四町会事務所）

一・子供フェスティバルチケット販売数

箱四／二一〇、

箱北／一〇〇、

二・三丁目／一〇五、

当日売／五〇を用意。

二・フェスティバル販売責任者

中さんのサブとして沼崎さん決定。

三・盆踊りうちわ

十二日午後、出来上り。

四・購入物の確認

タップ／四、

オワン／二五〇入×六、

スポットライト／六、

工具一式、

冷水タンク／一、

トコロテン器／二、

コードリール／一、

カセットデッキ／一



八月八日 AM九：〇〇

お仮屋、神酒所の設営。

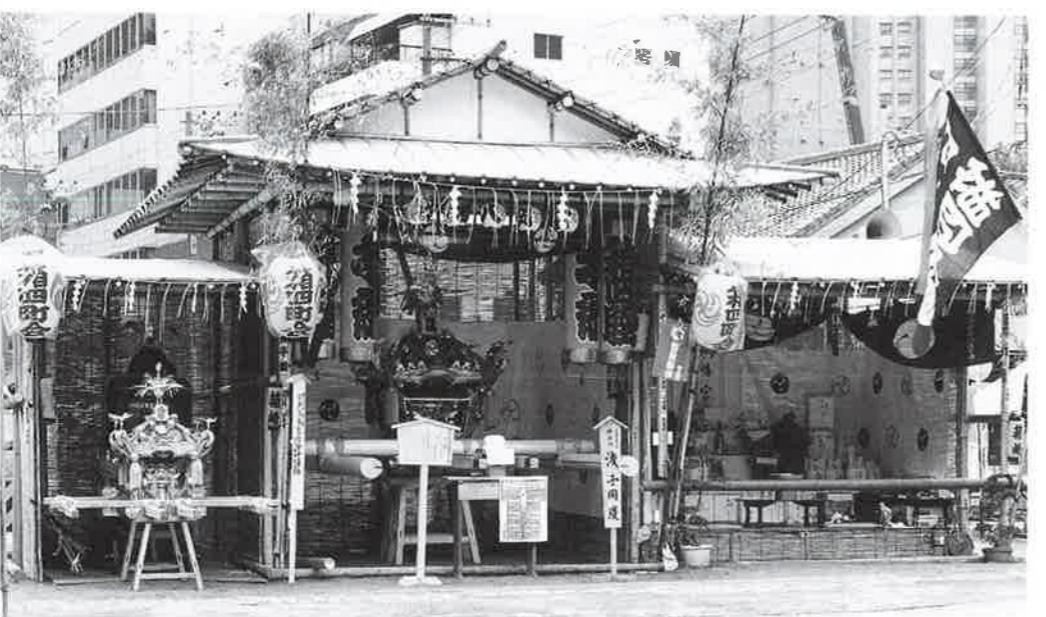
テント張り、寄付金掲示板の設置。  
台所設備等。



八月十一日

神輿の掃除、飾り付け。

神酒所開き。



八月八日 AM九：〇〇

お仮屋、神酒所の設営。

テント張り、寄付金掲示板の設置。  
台所設備等。

五・女性神輿、子供神輿用

アイス／一〇〇、

当日PM〇：三〇キタヤで引き取り

菓子／六〇コ×@三〇〇、  
ラムネ／一〇〇、箱北

スイカ／一・三丁目を確認。

尚、中学生以上で女性神輿の担ぎ手には  
弁当、ビール又は、ウーロン茶を支給。

六・十五日用菓子（子供神輿、山車）  
一五〇コ×@三〇〇

七・宵宮

生ビール／予算 一五〇,〇〇〇円。

サンドイッチ、三コ・オードブル、一コ／

箱四御神酒所へ。

サンドイッチ、三コ・オードブル、一コ／

二・三丁目御神酒所へ。

サンドイッチ、三コ・オードブル、一コ／

箱北御神酒所へ。

開会挨拶／箱四町会長

乾杯／山岸

八・盆踊りシロップ

一日目（十三日）

PM七：〇〇～PM八：〇〇／箱四

PM八：〇〇～ /一・三丁目

二日目（十四日）

PM六：三〇～PM八：〇〇／箱北

PM八：〇〇～PM八：三〇／箱四

PM八：三〇～ /二・三丁目

九・うちわ 盆踊り会場入口で手渡す／藤岡、渡辺

一〇・盆踊り司会進行／加藤（恵）

一一・子供フェスティバルの準備

当日引き取り 大塚

十二・十五日の配給の件

早朝

箱四神酒所前／増淵、山中、生田目、小林、大木

資料館前／増淵、山中、生田目、

蓬田、石井、宮田、渡辺

新川／増淵、山中、生田目、沼崎、

清野、加藤（恵）、伊藤

役員関係者

公園にて集合写真を撮影

（旧半纏着用）。

十三・八月十四日 AM十一：〇〇

八月十二日  
全ての飾り付けも終わり、今日から泊まり番  
がつく。

## 八月十三日

いよいよ祭のスタート。

まつり睦会のメンバーは、

AM一〇・〇〇から箱崎公園に集合して、盆踊り、宵宮の準備にとりかかる。

テント張り、机運び、万国旗の取り付け等々。

AM一〇・〇〇から箱崎公園に集合して、盆踊り、宵宮の準備にとりかかる。

テント張り、机運び、万国旗の取り付け等々。



## 八月十四日

睦会メンバーは、AM一〇・〇〇に箱崎公園に集合。子供フェスティバルの準備にとりかかる。

「ところてん」「ダーツ」 箱二・三

「かき氷」「射的」 箱北

「ハンバーガー」「輪投げ」 箱四

PM一〇〇より子供フェスティバル開催。時折、小雨がパラつく天候だったが、子供達の熱気で十分に楽しめたと思う。

当日は

ビール三五〇ml／二〇〇円

ウーロン茶等／一〇〇円

で販売した。最後にbingoゲームを行った。

PM三・〇〇過ぎにはうれんが到着。いよいよ明日の連合渡御への意気が高まってきた。

PM六・三〇  
PM九・〇〇 盆踊りの後、明十五日の連合渡御のため、早めに片付けを行った。



女性神輿は中学生以上が参加。今

年は男性の手を借りず立派に担がれた。小学生以下は高学年、低学年になれば、どちらも楽しく立派に担がれた。

AM一〇・〇〇から箱崎公園に集合して、盆踊り、宵宮の準備にとりかかる。

テント張り、机運び、万国旗の取り付け等々。

## 八月十五日

大祭のクライスマックス、連合渡御の朝である。

曇空に不安の幕開けで、箱四の神酒所を出発してまもなく少し雨もおちてきた。しかし門前仲町でトラックから神輿をおろす頃はすっかり雨も上がり、時折薄陽がさすようになつた。

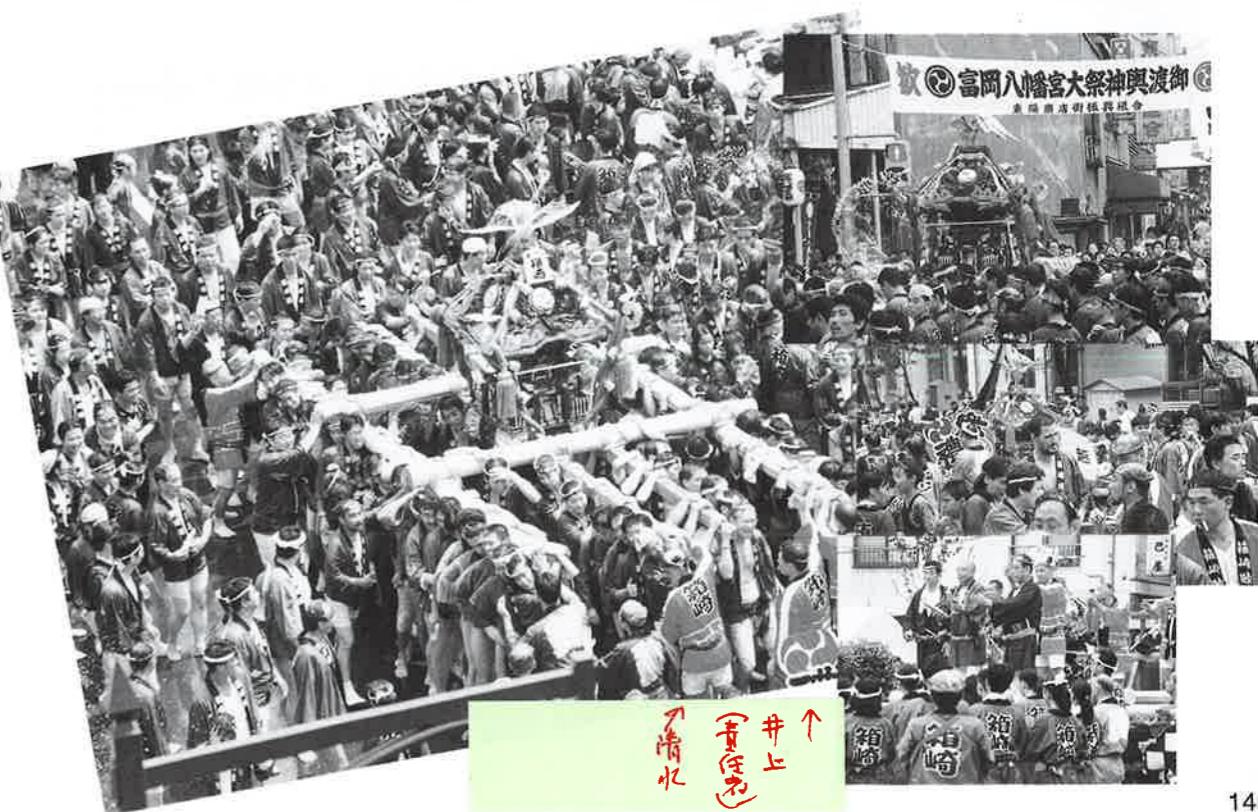
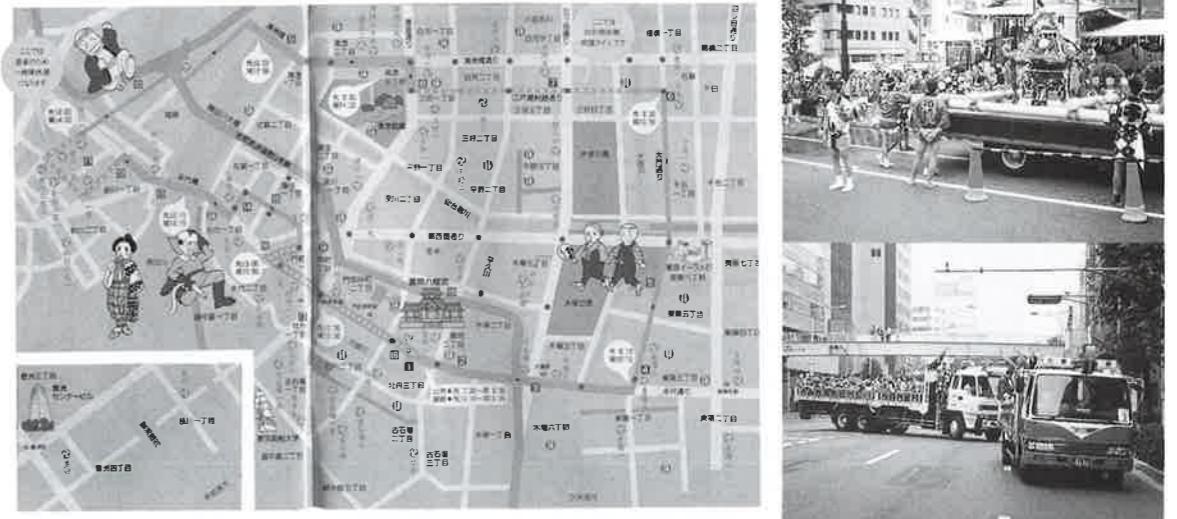
AM七・〇〇 花火の合

図で一斉に、門前仲町を出発。我々箱崎は今年二十二番。総彫の重厚な神輿が動き出した。

今回のルートは下図の通り。

小休止の三好町、江戸資料館通り。大休止(昼食)の新川明正小学校前を経て八幡宮を通り、牡丹町までの八キロの行程である。

今年は事前に神輿責任者(赤半纏)、警備交通責任者



者の紹介があり、事故もケンカもなく無事に連合渡御を参加し終えた。しかし今年も又、同好会のメンバーか(?)、非常識な行為をとる者がみられた。次回の反省点であろう。

箱崎に戻つてから、

I.B.M. 前より箱四神酒所前まで担ぎ、お仮屋に納め日本橋高校前で弁当、ビール等を配り打ち上げ解散した。

連合渡御の最中、

より町内の子供達のために、子供神輿二基と山車を出した。これには箱北、二・三丁目の親会の役員の方々と睦会の役員数人が行つた。

PM一・〇〇

より町内の子供達のために、子供神輿二基と山車を出した。

二・三丁目の親会の役員の方々と睦会の役員数人が行つた。

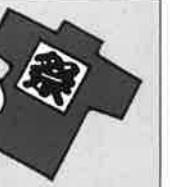


八月二十二日

直会(ターミナル)。

九月五日

睦会の反省会(労福会館)。



## 四・大祭を終えて

### 「神輿総代として」



先づは町長をはじめ、皆様方

の寸暇を削いてのご協力を頂き盛大に、また無事に打ち上げられた事を、お礼申し上げます。今年の二月頃、連合渡御への参加を理事会に於いて決定してから半年間、色々と案を練つて出来上がった企画にそつて行事が行われました。

増淵様のお骨折りによつて沢山の若い方々を掘り越して頂き、二・三丁目、箱北の方々、共々水を洩さないような組織でお手伝いを頂きました。子供神輿、山車等も皆様に喜んで担いだり、引いたりして頂きました。連合渡御の当日は予想を遙かに超える人達が集まり、早朝より夕方迄勇壮に盛大に担いでもらいました。赤半纏の方々、配給の方々のご盡力も並大抵ではなかつたかと存じます。神輿の化粧綱の新調に関しては、色はご助言を頂きながら決定し、水色が神輿の重厚さにマッチして素晴らしいと各方面よりおほめのお言葉を多数寄せられました。ご助言を頂いた方々に改めてお

札申し上げます。

連合渡御に参加中に神輿に水を掛けるのは当たり前ですが、見物の方たちにしらばつく水を掛ける方が何人かおりました。注意はしていましたが目の届かない所でやつて居たようで、誠に恥ずかしい事です。今後は皆様方のご協力で注意をし、恥ずかしい事はやめましょう。翌日の後片付けの際にも、例年にも倍して沢山の方々からお手伝いを頂き早々と撤収できました。ありがとうございました。

再開発組合の村松理事長様、事務局の方々、解体工事の共同企業体の方々にお仮屋の場所の提供、資材の提供等、大変お世話になりました。重ねてお礼申し上げます。

皆様よりのご助言、ご注意、お叱り等は心の中でかみくだいて、次の糧にしたいと思つておりますいたらぬ所はご容赦下さい。

以上「大祭を終わつて」総代と致しまして、心よりお礼申し上げます。

山岸 博

### 「神輿総代として」



毎年八月十五日を中心として行われる例大祭、本年は曆のめぐり合わせで、十五日（日）の神輿連合渡御、私にとつては仕事のこともあり大変都合のよい日程となりました。

総代になつて二度目の大祭であります。三年前、初めて総代として参加した時は緊張と経験不足で途中で足が突張つた事を思い出します。心配されました天候も全員の心意気で吹き飛ばし、盛大に終わりましたことに感謝いたします。

十三日の宵宮十四日の盆踊り、町内を練り歩く子供神輿、山車などが加わり賑やかに老若男女を楽しませてくれました。いよいよ十五日連合渡御本番、早朝五時より役員の注意事項を聞き八幡宮を出発。神輿責任者の一際目立つ赤半纏、水しぶきを浴びながら盛り上がりも最高潮に達して来ました。今年は若者、女性の担ぎ手も多く、赤半纏の統率のもとで近年にない立派な渡行が出来ましたと神輿総代としてよろこんでおります。

結成された「箱崎まつり陸会」の存在が大きく寄与しております。三町会連合の催しと合わせて、当四丁目の大祭にも大変なご協力を頂きました。三年に一度のこの日のために会合を重ね三町会の和を持って、神輿を担ぎたい若者が裏方に廻り、蔭日向なくスケジュールに合わせての行動は、次代を担う箱崎の姿と映りました。大所、高所より物言を見ながら連絡事項の行き違いの一つ二つはあったようですが、特に混乱もなく大成功に終わつたのは何よりです。

光陰矢の如し、また三年後が来るでしょう。神輿は一人では担げません。

皆川 史朗

地域の皆さんのがひとり一人の協力で、そして地元箱崎町の熱い思いが一緒にになって、一層盛大な祭を楽しみにして居ります。

山岸 博

## 「祭りが終つて」

五〇余基の大神輿渡御の行列が行つてしまつて、誰もいない御神酒所では、テーブレコーダーの祭囃子だけが繰り返しひるの谷間に木靈していた。白髪の老人が一人、役員半纏を着込んで物影から顔を出し、時折訪れる懐かしい遠来の客を笑顔で迎えた。

御仮屋の前の大通りを、渡御の後を追つて頼りに忙しげな人達が行き交じって、引き返す人達の足どりは重く、それでも何れも満足そうな笑みを満面に浮かべていた。

大川端の向こうの深川から、まだ続いているあの行列のどよめきが、幽(かす)かに川風に乗つて響いてくるような気がした。

二〇代半ばに届かんとする一人娘と、関西から久し振りにやつてきた長男の彼等の誘い仲間十数人が揃いの半纏をびしょ濡れにし、何れも声を鳴らしながらたくたくなつて戻ってきた。出かけるときの粋な法被姿も乱れ、女の子達も高らかと話が弾んでいた。彼等の大半は初参加であった。

娘は、掛け水を浴び、コンタクトレンズの処置に困つていたところ、親切な町内のタバコ娘役のオバサンに助けられ、レンズを預かつてもらつてよほど嬉しかったとみえ特に感動していた。他人との触れ合いの喜びを、生まれて初めて味わつたかのように、はしゃぎながら吹聴していた。

箱崎に帰つて来るようになると心から祈る思いです。役員としては常に頭に入れて行動して居ります。

見物の方から見れば勇壮且雄大な渡御である事、当事者 担ぎ手も無論自認の上ですが裏方も大変な努力です。本当に皆様方の努力には頭が下がります。

本年も何事もなく終わりました。色々と反省点もある事とります。先はめでたし、めでたしと云う気持ちで一杯です。

私事で恐縮ですが、確か九年前に昔風で笑われると思ひますが大祭の無事故を祈念し、大好きな煙草を絶ち行事に対処致しました。御陰様で煙草もやめられ、今回迄何の災いもなく終了して居ります。

今後共にこの気持ちを持ち続け、謙虚に見守つていく積もりで居ります。本当に御苦労様でした。次回を期し、皆様方の御健康を祈念致す次第でござります。

## 「大祭を終つて」

大木 和雄

## 「神輿責任者として」

今年の富岡八幡宮大祭には裏方の人はもとより、女性の皆様には大変御苦労様でした。

今年の連合渡御は最高でした。これからも若い人達が頑張つて行かなればならないでしよう。これからもよろしくお願ひいたします。

鷺田 弘司

## 「祭りを終えて」

雨の心配で始まつた大祭を皆様の心意気でしょうか、丁度よい天候に恵まれ、女性の集まりに一段と花を添えての出発式に始まりました。

町会食の挨拶で懐かし涙で・遠ざかる神輿を送らせて頂きました。

昔を偲ぶ立派な雄姿を担いで、連合渡御も無事にすみ、元気な掛け声と共に御仮屋入を済ましてほつとしたと同時に、懐かしい様な寂しい様な心地でそれそれが三年後に夢を託して家路に付いた事と思われます。又婦人部の皆様方、連日の御協力に心より感謝致しております。

尚御一同様、本当にお疲れ様でした。ありがとう御在居ます。

山岸 ミイ

## 「半纏責任者、神輿副責任者として」

本年の大祭も無事に終わり、これも皆様の一斉団結の賜物だと、心より思います。

今年は神輿副責任者として参加しましたが、思ひがけなく若いエネルギーを感じ、次代の箱崎の神輿の担ぎ手ができる、安心した次第です。

尚一方、半纏の責任者としての感想は、祭りの一ヶ月前ぐらいから半纏の数の確認や、また申し込みの枚数のチェック、申し込み代金の確認。当日、

縦の付き合いにはやや縁遠く育つた今は時の若者達には、初めて坦いだ御神輿で、殆ど見知らぬ多勢の中に飛び込み、触れ合い以上に暗黙の中の連帯と絆の繁がりを感じ、それぞれの役割を演じることがで、予想外に嬉しかったようである。

一基の神輿に数百人の人が群がる。顔見知りの人も混じるが、殆どは日頃馴染みの薄い人達である。

総代さんの「お手を拝借」の加計声一言で、三三七の手拍子が済めば神輿は勢いよく動き出す。

俳句好きの知人が、当日、吟行の句を寄せて下さった。

「神輿揉む、永代橋をゆるがせて」たき子

渡御のとき、永代橋がほんとうに揺れていたそうだ。私は童心に返つて、橋の欄干に耳を当て、そのときの揺れ動く橋の響きを聴いてみたかったようだ。

祭りが終わって、老いた人はやたら昔を偲び、懐かしみ。若い人達は楽しい思い出を残して、三年後の又の日に夢を馳せてくれた。

平成五年九月一〇日

箱崎北新堀町会 青木 昭

## 「祭り雅感」

心配された天候も、この日ばかりは快晴夏日となり、三年に一度の八幡祭が盛大に開催されました。先頭から仕舞まで二時間強をかけて、何基もの神

## 「大祭を終つて」

山田 福蔵

八月一〇日ごろから心躍り、緊張の糸が張りつめ、最高に達するのが十五日の連合渡御と、気持ちを盛り上げていくのです。

が、毎回思い出すことは怪我、災難もなく無事に置き、神輿が御仮屋に納まつた時は、ほつとしました。

全力を上げて担いでくれた皆さん、裏方の婦人部の皆さんの働きぶり、そして今年より発足した、若手箱崎まつり睦会の皆さんの数ヵ月前からの裏方の働きぶり、そして本番での活躍は大変な事でした。町会の皆様のお力で盛大な御祭が出来ました。有り難う御座居ました。また、後片付けの御手伝い頂き皆様に感謝しています。

花岡 正三

急に半纏を貸してくださいと言った人が出て、その貸し出しや祭りが終わってからも半纏の回収があり、その回収がなかなか集まらず一ヶ月もかかり大変でした。この半纏の貸し出し及び回収は、副会長の山田氏のアドバイスや小林氏のご協力を大変ありがとうございました。

三年後も楽しく大祭が出来ますように、心から願つてやみません。

平成五年九月吉日

西山 幹夫

### 「配給責任者として」

大祭無事終了了！ よかった、よかったです。

今回初めて配給連絡と言う役目を受け持ちました。お祭の運営がこんなに大変なものとは思いませんでした。結果として素晴らしい大祭をお手伝いできた事を喜んでいます。八月十二日の神酒所開きの準備から始まり、十三日の女性、子供神輿。夕方からの宮宮と盆踊り。十四日の子供フェスティバルと夜の盆踊り。十五日はハイライトの連合渡御と神輿と山車の町内渡御。十六日の神酒所の後片付けまで沢山の町の人々がそれぞれに協力して働いてるのを見ました。

私の役目は弁当や飲物の手配と配給でしたが、連合渡御において途中の小休止時(江戸資料館通り)にオニギリとサンドイッチの足りなかつた事が一番の失点でした。これは前回を参考にして用意し

たのですが、その日の天候と気温と神輿の進行状況により大きく変わる事をしました。他の点ではまずまずの結果であったと思います。

私の役目が一応無事に終了出来たのは、婦人部の皆さんとの協力と増淵さんをはじめ、総代や諸先輩方の御指導のおかげです。

ありがとうございました。

箱四の伝統ある神輿が箱崎町全体の各町会の人々と、毎回わざわざ箱崎の神輿を遠方から担ぎに来てくれる沢山の人々により、支えられている事をつくづく感じました。

お祭りは町会の行事の中で、一番大きな行事です。だんだん街がビル化して、下町の風情が薄らい�行く様に思います。祭りの時は非軒先にチョウウチンを飾り、夕方からそのチョウウチンに灯を入れて、一時でも下町の風情を取りもどしたいと願っています。

山中 國祐

### 「会計責任者として」

会計の主役は、ワープロ！

寄付金の入金を初め、支払いも全てその場(神酒所)でインプットする為、記帳漏れもなく残高も一目瞭然。その為支払いはスピードライターと違つて、素早く作成出来る事が嬉しい。兎に角、一円の違うもなく終了出来たのは喜ばしい。ワープロ様々。

箱一・三 竹門 榮一

でも会計役はもうゴメン！

嘉藤 清市

### 「神輿副責任者として一言」

三年間待ちに待った深川八幡宮例大祭も、八月十五日に神輿の連合渡御とともに、本年も幕を閉じました。本年私は、神輿の副責任者として一日中神輿について、八キロの渡御に参加いたしました。

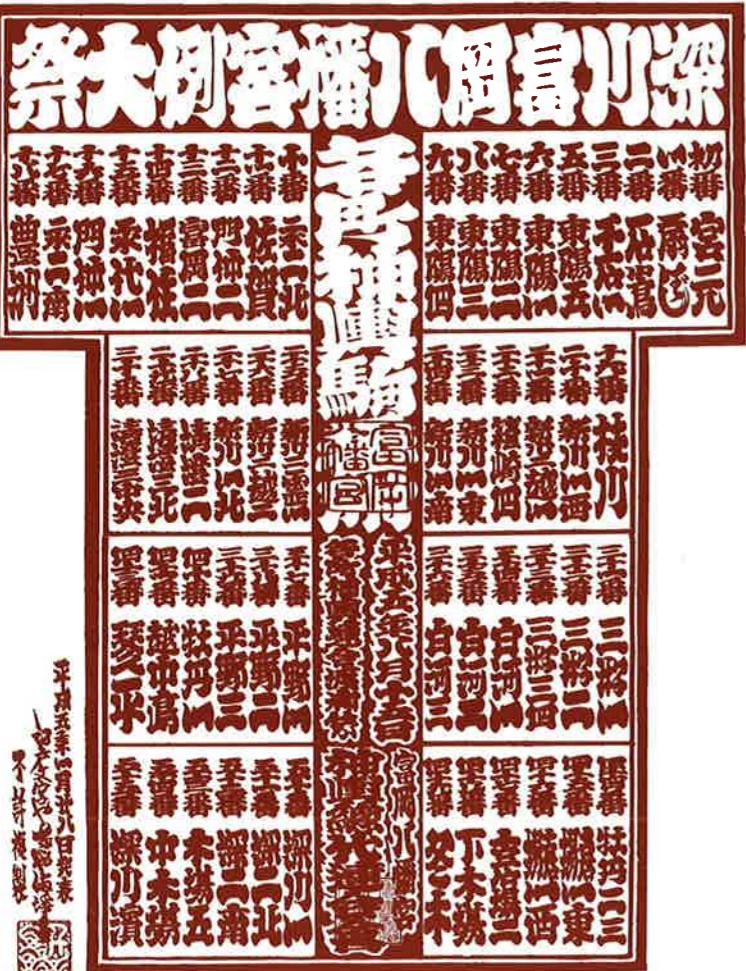
正直いって本年はとても疲れました。疲れた原因は、神輿を押すことで始まり、押すことで終わつたと思います。箱崎の神輿は非常に重いので中々前に進まず、責任者の人々も後に回つて大きな声で掛け声を掛けられましたが、いつこうに前に進まず！回りに人がいっぱいいるのですが、見ていいだけで押してくれません。もう少し協力があればよいと思うのですが、この次の例大祭の時には、皆様の協力を待ちしております。せっかく担ぎに来たのに、歩いているだけの人達も多い様ですね。

三年間待ちに待った深川八幡宮例大祭も、八月十五日に神輿の連合渡御とともに、本年も幕を閉じました。本年私は、神輿の副責任者として一日中神輿について、八キロの渡御に参加いたしました。

正直いって本年はとても疲れました。疲れた原因は、神輿を押すことで始まり、押すことで終わつたと思います。箱崎の神輿は非常に重いので中々前に進まず、責任者の人々も後に回つて大きな声で掛け声を掛けられましたが、いつこうに前に進まず！回りに人がいっぱいいるのですが、見ていいだけで押してくれません。もう少し協力があればよいと思うのですが、この次の例大祭の時には、皆様の協力を待ちしております。せっかく担ぎに来たのに、歩いているだけの人達も多い様ですね。

三年間待ちに待った深川八幡宮例大祭も、八月十五日に神輿の連合渡御とともに、本年も幕を閉じました。本年私は、神輿の副責任者として一日中神輿について、八キロの渡御に参加いたしました。

正直いって本年はとても疲れました。疲れた原因は、神輿を押すことで始まり、押すことで終わつたと思います。箱崎の神輿は非常に重いので中々前に進まず、責任者の人々も後に回つて大きな声で掛け声を掛けられましたが、いつこうに前に進まず！回りに人がいっぱいいるのですが、見ていいだけで押してくれません。もう少し協力があればよいと思うのですが、この次の例大祭の時には、皆様の協力を待ちしております。せっかく担ぎに来たのに、歩いているだけの人達も多い様ですね。



「あとがき」

平成五年度の富岡八幡宮例大祭も、八月十五日の連合渡御をもって幕を閉じました。今は神輿も静かにお仮屋に納められ、神酒所で「まつり」の余韻を惜む人達も、一人一人と家路について行きました。後は、今日の泊り番三人と渡辺將親君(小四)。身体は水をかぶった綿のように、ぐつたりと重いのに何故か寝るのが惜しいような気がします。ライトアップされた神輿を見て目を閉じると、昼間の活気あふれる掛け声と躍動する神輿。色鮮やかなブルーの飾り綱が、何度も何度も浮かんでは消え浮かんでは消えてきます。一夜明ければ、もう祭の余韻にひたつてはいられません。又、皆総出で後かたづけの始まりです。

今年は、十三日の宮宮から連合渡御まで親会のご意見を参考に、「まつり睦会」のメンバー一致団結で、大変素晴らしい祭を行うことができたと思います。深川の祭は、「神田明神」「山王日枝」と並ぶ江戸三大祭のひとつで、中でも「水かけ祭」として江戸時代より引き継ぐ歴史と伝統の祭です。我々「箱崎まつり睦会」では、三年に一度の大祭及び毎年行われる「盆踊り」「子供フェスティバル」等の行事も、単なるイベントではなく、箱崎の伝統として永久に保存し、古き良き下町の風情を残していくよう努力していきたいと思います。睦会のメンバーはもちろんのこと、親会ともいえる箱崎三町

せ、重ねてお忙び申し上げます。この小冊子が单なる平成五年の祭の記録にとどまらず、今後の祭の手助けの一助となれば幸に思います。

この小冊子が皆様のお手元に届く頃には、御神輿は三年間の深い眠りについているでしょう。三年後の活力を養うように……！

福本